

緑のセンターだより

No.326 令和8年5月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

レンゲソウ（レンゲ・ゲンゲ）

別名：紫雲英(ゲンゲ)

マメ科 ゲンゲ属

Astragalus sinicus L.

レンゲソウは中国原産の越年生草本で、北海道ではあまりなじみのない植物ですが、本州では野生化しており、野原や道ばたでも目にすることができます。

株の高さは10~25cmで、全体にわずかに白い毛があり、茎は基部から枝分かれして地面を這うように広がります。長さ10~15cmの花茎の先に4~6月ごろ紅紫色の花を咲かせます。花が輪状に7~10個つくさまが仏像を安置する「蓮華座」に似ていることから、「レンゲソウ（蓮華草）」の名前が付き、「レンゲ」ともよく呼ばれます。ただし仏教における

「蓮華」は、スイレン科のハスやスイレンの総称で、レンゲソウとは別の植物です。

レンゲソウの標準和名は「ゲンゲ」で、レンゲが訛ったとされます。江戸時代にはすでにレンゲとゲンゲの両方の言葉が定着しており、ゲンゲが標準和名として確立したのは明治時代になってからです。ゲンゲを漢字で書くと「紫雲英」で、「英」は本来「花」を意味し、まるで紫色の雲のごとく一面に咲き乱れる花の様子を表現したとされます。また、漢名は「翹揺（ぎょうよう）」で、「翹」という漢字は鳥の羽と関係があり、鳥が頭を下げると尾の羽がピンと上を向いて立つことを表します。レンゲソウの花は羽のように伸びた茎の先に咲き、それが風に吹かれて揺られる様子からその名がつけられたようです。

ゲンゲの名前の由来は他にも諸説あり、レンゲとは関係なく「翹揺」を訛らせた説や、レンゲ（蓮華）と書くと死を意味するのでわざと訛らせた説などもあります。

根に根粒菌が共生し、空気中の窒素を固定することから緑肥としての利用価値が高く、明治末期から北海道を除く日本全国の水田の裏作などに利用されてきました。古くは江戸時代の「本草正偽」にも、緑肥や飼料として利用していた記録があります。

春になると水田一面に美しい花を咲かせ、日本の田園風景を彩る存在でした。しかし、近年は化学肥料の利用により、緑肥としての価値が減り、栽培面積は著しく減少しています。また、レンゲソウは蜜源植物としても代表的な存在で、蜂蜜の王様とも呼ばれるほど良質な蜂蜜が採れていましたが、レンゲソウ畑が減ることにより国産のレンゲ蜂蜜も希少になりつつあります。

多くの俳句にも詠まれるほど身近にあったレンゲソウの存在感が消えていくことに、時代の移り変わりの儚さを感じずにはられません。

参考文献：「園芸植物大事典」小学館、「朝日百科 植物の世界」朝日新聞社、「漢字の植物苑」岩波書店、「日本の主要蜜源パンフレット」日本養蜂協会、「野草の名前[春]」山と溪谷社、「花の文化史」東京書籍 ほか

開花情報及びイベント情報については豊平公園ホームページをご覧ください。



5月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00~12:00 13:00~16:00

★豊平公園 811-9370 月曜以外毎日（月祝日の場合は、翌平日が休み）

★百合が原公園 772-3511 4/26(日)~毎週 木、日

★平岡樹芸センター 883-2891 4/29(水祝)~毎週 水、土

		作業時期			作業内容	
		上旬	中旬	下旬		
屋 外 園 芸	庭木	移植・根回し			イチイ、マツ類、シャクナゲなどの移植。来年移植予定樹木の根回し。	
				緑摘み	アカマツ、クロマツ、ゴヨウマツの緑摘みが始められる。	
	果樹		病害虫防除		果樹の種類や病害虫に適した薬剤を花後に散布する。	
		花木	整枝・剪定			ツツジ類、レンギョウなど花後に花がら摘みを兼ねて剪定を行う。
			植付け			購入株は早めに植え付ける。植え床の準備(腐葉土などの施用)は2週間前までに。
	野菜		種まき			エンドウ、葉物野菜などの種まき。パレイショの植え付け。
				種まき		エダマメ、ササゲ、トウモロコシなどの種まき。
				植付け		トマト、ナス、キュウリは1日の平均気温が15℃になってから苗を植え付ける。
	花壇		種まき			アスター、シニアなど1年草の播種。
				植付け		ダリア、カンナ、グラジオラスなど球根類の植え付け。
			花がら摘み		チューリップ、スイセンなどの花がらを取り、花用肥料30~40g/m ² ほど施肥する。	
芝生		種まき			ケンタッキー種や混合種など。	
		刈り込み・灌水			5~6cmに伸びたら、3cmに刈り込む。灌水は根に十分に水が届くまで行う。	
			施肥		化成肥料を20~30g/m ² 均一に散布し、灌水する。	
室 内 園 芸	鉢花	植替え			アザレア、ポインセチア、ランタナ、アジサイ、ゼラニウムなど植替え・伸びた枝の剪定。	
			植替え・株分け		クンシランなどの植替え。分岐株は株分けをする。	
			施肥		固形肥料は、鉢の大きさに合わせた量が決められているので、それに合わせる。	
	洋ラン	施肥			新芽が伸び始めたら薄い液肥を施用。シンビジウムは置肥と水がわりに3000倍液肥を併用。	
			置き場所		シンビジウムは室内で日当たり、他の洋ランはレースのカーテン越しで管理する。	
	サボテン	葉摘み・植替え			シャコバサボテンは2~3茎節を残して摘み、植え替え。	
			灌水・施肥		春秋型サボテン類に灌水・肥料開始。アロエは明るい窓辺へ。出蕾予定鉢の水切れ注意。	
	観葉植物		植替え			シェフレア、ドラセナなど大型観葉や、2年以上植替えしていない鉢の植え替え。
		施肥			液肥は規定濃度で7~10日に1回、固形肥料は鉢の大きさに合わせた量を施用。	
		置き場所			ポトス、ドラセナなどはレースのカーテン越し。	



Q ブドウをつくっています。11月中下旬に剪定をしています。それ以降はこれといった作業はしていません。夏になると、つる枝が伸びてブドウ棚全体がもさもさになってしまいます。何かよい手当、方法はありますか？

A リンゴやナシなどの果樹は剪定をすることによって樹形を整えますが、ブドウは剪定の他に芽かきと誘引の作業が必要です。①芽かき・誘引の目的：葉1枚1枚に光を当て効率のよい光合成を行わせ、甘みのある美味しいブドウをつくることです。②芽かきの時期と方法：5月中下旬の遅霜の恐れがなくなったら、副芽や混み合っている芽をかきます。ブドウは一つの芽から複数の芽を出しますが、そのうちの小さいものや下向きに伸びている芽など不適切なものを除き、元気な芽を一つ残します。1回目は、5月中下旬、葉が2~3枚で5cmほど伸びた頃に行い、以降は適宜混み合っている部分を整理します。また、樹勢や品種によって副芽の出方が異なり、キャンベル・アーリーや巨峰は副芽が出やすくシャイン・マスカットはあまり出ないようです。③ブドウの新梢（春から伸びるつる）は放任しておくとも枝葉が絡み合うので、早めに誘引してやるのが大切です。誘引は、つるが30cm前後程伸びてきた頃に架線に固定します。その間隔は、葉が重ならない25~30cm程度とします。しかし、ブドウの新梢はもろく折れやすいので、無理に引っ張ると基部からぼろっと折れてしまいますので注意が必要です。

展示会情報

豊平公園

ゼラニウム展 4/28 (火) ~5/10 (日)
北海道の盆栽づくり5月展 5/9 (土) ~5/10 (日)
最終日15:00まで
ハーブと野菜展 5/12 (火) ~5/24 (日)
バラエティ盆栽展 5/15 (金) ~5/17 (日)
最終日15:00まで
山野草展 5/24 (土) ~5/25 (日)
最終日12:00まで
さつき 花季展 5/28 (木) ~5/31 (日)
最終日16:00まで

百合が原公園

サクラソウ美術館~日本や欧米のサクラソウの展示~
4/21 (火) ~5/6 (水祝)
ペチュニア展~鮮やかな初夏の装い~
5/8 (金) ~5/17 (日)
サボテン・多肉植物展~人気のインテリアプランツ~
5/19 (火) ~5/24 (日)
最終日15:00まで
初夏の盆栽展
5/23 (土) ~5/24 (日)
最終日15:00まで
市民ラン展~市民参加のランの展示会~
5/26 (火) ~5/31 (日)

春色のムスカリの小径



今年もムスカリの小径では27品種のチューリップとムスカリの競演を楽しむことができます。5月上~中旬頃には色彩豊かな小径が広がり人気のフォトスポットに。野草園では洋種カタクリや三寸アヤメなど、次々と春の花が咲き始めます。



〒062-0905
豊平区豊平5条13丁目
TEL 011-811-6568

地下鉄東豊線
「豊平公園」駅下車
1番出口徒歩1分

春の名風景



5月はあたたかな陽気が広がる季節。園内を周遊するリリートレインの車窓からは、約10万球の青紫色のムスカリと、約70種類・6,500球ものチューリップが楽しめる「ムスカリの道」が見頃を迎えます。

5月中旬からは優しく香るライラックやフジのほか、ハンカチノキやクロユリ、ヒマラヤの青いケシなどの百合が原公園だからこそご覧いただける植物たちも開花をはじめ、園内は華やかな花々であられます。

※開花情報は管理事務所に問い合わせ



〒002-8082
北区百合が原公園210
TEL 011-772-3511

JR学園都市線
「百合が原」駅下車
徒歩7~10分

園内は桜色に

今年もサクラの開花が早いようで、5月上旬にはフゲンソウやカンザンなどの花木が園内を春色に彩ります。

また、庭作りに役立つ園芸教室が開催されます。



〒004-0874
清田区平岡4条3丁目
TEL 011-883-2891

地下鉄東西線
「大谷地駅」から
中央バス(大69)
「平岡4条2丁目」下車
徒歩1分

イベント情報（5・6月）



豊平公園緑のセンター

☎ (011) 811-6568
<https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

【園芸教室】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
果樹の夏の病害虫防除	5月4日(月祝)	13:30~15:30	500円	40名	受付中
ゼラニウムの種まき・挿し木	5月5日(火祝)	13:30~15:30	2500円	20名	受付中
果菜（実もの野菜）の育て方	5月6日(水祝)	13:30~15:30	500円	40名	受付中
花壇の土づくり	5月10日(日)	10:00~12:00	800円	20名	受付中
ハーブを育てて楽しもう~キッチンハーブ編	5月13日(水)	10:00~12:00	3000円	10名	受付中
ハーブを育てて楽しもう~ティーハーブ編	5月13日(水)	13:30~15:30	3000円	10名	受付中
花・野菜・庭木の病害虫防除	5月23日(土)	13:30~15:30	500円	40名	5/12(火)~
【北海道の盆栽づくり 技術講習会】 6月技術講習	6月13日(土) 6月14日(日)	10:00~14:00 完全時間予約制	材料費実費	各6名	5/12(火)~
【植物クラフト講習会】 ベチュニア白グリーン寄せ植え	5月24日(日)	10:00~12:00	5,000円	10名	5/12(火)~
【あけび工房講習会】 花びら型バスケット ヒメツルニチニチソウ付き	5月31日(日)	10:00~12:00	4,200円	12名	5/12(火)~
【園内自然観察会】春の観察会	5月30日(土)	10:00~12:00	500円	20名	5/12(火)~



百合が原緑のセンター

☎ (011)772-3511
<https://yuri-park.jp/>

【講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込
あけびのフラワーバスケット	5月30日(土)	10:30~12:30	3,500円	8名	5/12(火)~
洋ランの育て方	5月31日(日)	13:00~14:30	300円	20名	5/12(火)~
本格コケテラリウム教室	6月20日(土)	10:00~12:00 13:00~15:00	2,500円	8名 8名	5/12(火)~
【イベント】	開催日	時間	参加費	定員	申込
オリエンテーリング①「百合が原公園の春」 ※記念品あり	開催中~ 5月6日(水祝)	9:00~16:30	無料	なし	不要
オリエンテーリング②「ライラック」 ※記念品あり	5月12日(火)~ 5月24日(日)	9:00~16:30	無料	なし	不要
スタンプラリー①「百合が原公園」	4月25日(土)~ 5月10日(日)	9:00~16:30	無料	なし	不要
スタンプラリー②「札幌市の木/緑のセンター」	5月26日(火)~ 6月7日(日)	9:00~16:30	無料	なし	不要
ワークショップフェスティバル ハーバリウム、コケテラリウム、まめ盆栽作りなど	5月2日(土)~ 5月6日(水祝)	10:00~15:00	500円~ 1,500円	定員なし	申込不要 リリートレイン駅舎横で 開催予定
お散歩ガイド	5月2日(土)、9日(土)、 16日(土)、23日(土)、30日(土)	13:00~14:30	無料	なし	不要 13:00 センター前集合



平岡樹芸センター（みどりーむ）

☎ (011) 883-2891
<https://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/>

【園芸、庭作り教室】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
庭木の病害虫防除	5月5日(火祝)	13:30~	500円	20名	受付中
小庭造りの考え方	5月10日(日)	10:00~	500円	20名	受付中
マツ類の緑摘み	5月17日(日)	10:00~	500円	20名	5/12(火)~
ツツジ類や花灌木の剪定	5月17日(日)	13:30~	500円	20名	5/12(火)~
【植物クラフト講習会】 ※3日前~当日のキャンセルはできません。 多肉植物箱庭寄せ植え講座	5月23日(土)	10:00~	4,000円	12名	5/12(火)~
季節のお花のギャザリング講座	6月13日(土)	10:00~	5,000円	12名	5/12(火)~